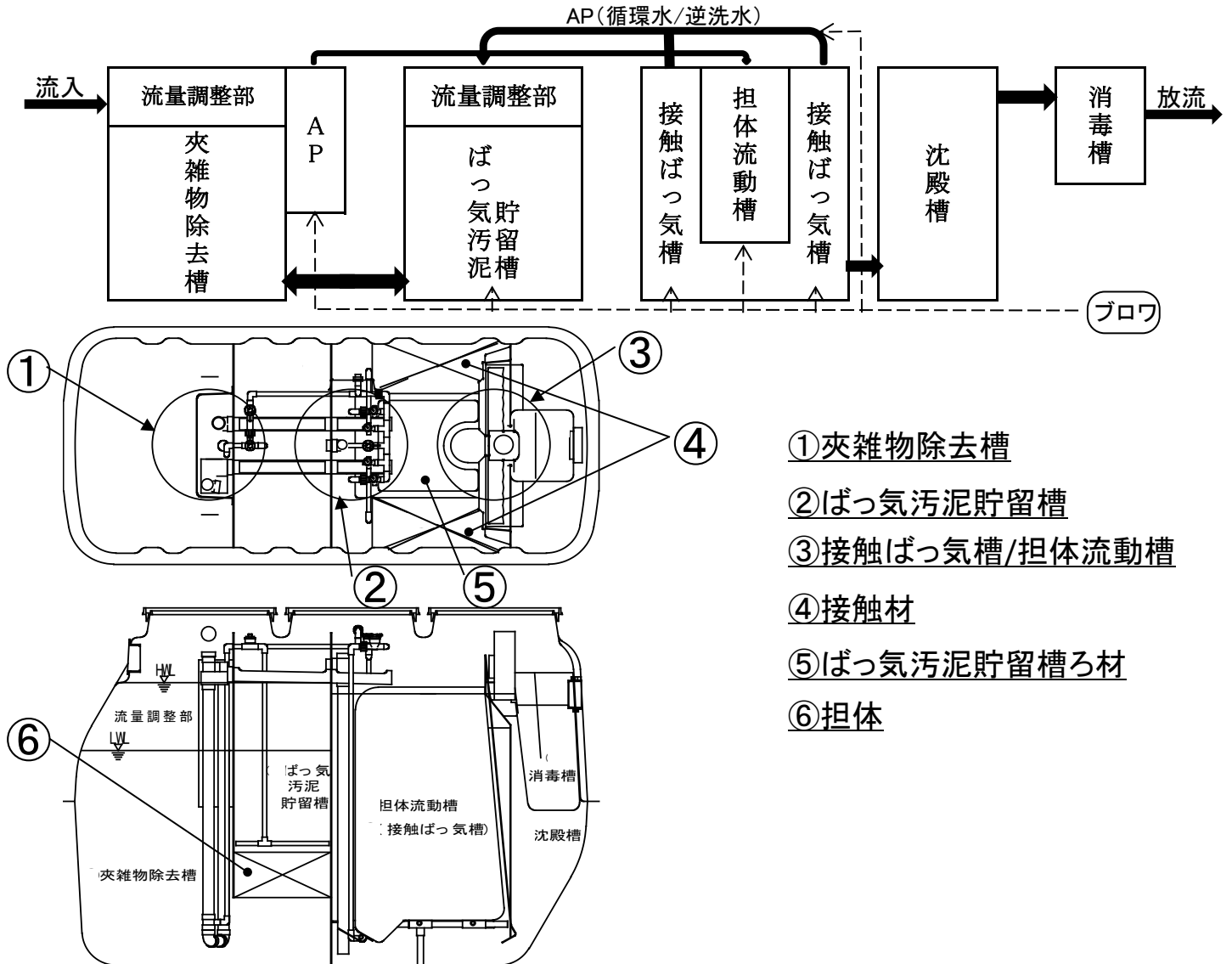


HY (株)クボタ	BOD除去型		全浄協登録値		
FY 第一公害プラント(株)	NY 西田産業(株)		BOD	SS	T-N
OEM TPC 東洋プラント(株)	IBC-Y (株)イビデン住設		20mg/L以下	—	—
CMC (株)西原ネオ	FCK 藤吉工業(株)		性能評定または性能評価値		
処理方式 流量調整型担体流動接触ばっ気循環方式			BOD	SS	T-N
5・7・10人槽			20mg/L以下	—	—



有効容量 (m <sup>3</sup> )		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	夾雑物除去槽(L. W. L)	0.548	0.738	1.038
	ばっ気汚泥貯留槽(L. W. L)	0.361	0.509	0.876
	担体流動槽	0.268	0.353	0.518
	接触ばっ気槽	0.251	0.300	0.414
	沈殿槽	0.595	0.709	1.009
	消毒槽	0.234	0.308	0.478
	合計		2.282	2.942

槽底部からろ材受け面までの距離(mm)	ばっ気汚泥貯留槽	300	370
---------------------	----------	-----	-----

流量調整機能	流量調整・散気バルブ目盛	調整せき可動Vノッチ	分配調整バルブ目盛	循環バルブ目盛	逆洗バルブ	散気バルブ
有	90	最下端	60	60	全閉	全開

人槽	ブロウ風量 (ℓ/分)
5・7	80
10	100

[人槽に対する流調・循環水量の設定範囲]

人槽(人)	5	7	10
流量調整移送水量(ℓ/分)	2.8～4.2	3.9～5.8	5.6～8.3
調整せき可動Vノッチ高さ	1.4～1.7	1.6～2.0	2.0～2.3
循環移送水量(ℓ/分)	0.7～2.1	1.0～2.9	1.4～4.2

特徴

**流量調整機能** 夾雑物除去槽、ばっ気汚泥貯留槽の上部が流量調整部となっており、夾雑物除去槽の中間水が流量調整用エアリフトポンプにて担体流動槽へ定量移送される。

**夾雑物除去槽** 流入水に含まれる大型の固形物、油脂等が分離、貯留される。槽内の中間水がバツフル内の取水口より揚水され、エアリフトポンプにて担体流動槽へ移送される。槽下部はばっ気汚泥貯留槽と連通している。

**担体流動槽** 接触ばっ気槽の中央付近に担体(φ28×L28mm)を充填した槽が設置され、側面ばっ気により担体が流動して、BOD除去が進行する。流出水は槽下部の移流口より接触ばっ気槽へ移流する。槽上部には槽内の点検のため、開閉可能な点検口が設置されている。

**接触ばっ気槽** T字型散気管が2本設置され、それぞれの散気によって生じる旋回流は担体流動槽と接触ばっ気槽に分配される。担体流動槽の左右に接触材が充填されており、側面ばっ気によって槽内水が攪拌されてBOD除去が進行する。流出水は槽底部の移流口より沈殿槽へ移流する。また、槽内水の一部は流入側の隔壁付近に設置されたエアリフトポンプにより、ばっ気汚泥貯留槽へと循環される。なお、接触材の逆洗はバルブ操作による手動逆洗である。

**ばっ気汚泥貯留槽** 夾雑物除去槽において分離された固形物、および接触ばっ気槽から移送された余剰汚泥等が貯留される。槽の中央より下に骨格様球状ろ材が充填されている。ろ材の上部には散気管が設置され、常時ばっ気して汚泥の減量化が図られる。ろ材より下側では汚泥が貯留される。

作業時のポイント

**保守点検**

- ①流调用エアリフトポンプ移送水量を上表の水量になるよう調整せきを調整してください。
- ②移送水量は計量装置・移送管内の生物膜やスライムの付着状況により減少しますので、保守点検の都度、毎回計量装置及び移送管の掃除を行ってください。
- ③接触ばっ気槽の逆洗は、剥離汚泥の移送も含めて保守点検の都度、毎回行ってください。
- ④担体の流動状況及び、ばっ気の偏りが無いか確認してください。

**清掃**

- ①初めに接触ばっ気槽の逆洗を行ってください。
- ②担体に生物膜の付着が多いときは、担体流動槽の攪拌を行い、汚泥を沈降させ、ばっ気汚泥貯留槽に移送するか、引き抜きを行ってください。
- ③夾雑物除去槽・ばっ気汚泥貯留槽の汚泥は全量引き出してください。